

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月13日

計画の名称	小野市における水環境の整備(3)(防災・安全)												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	小野市												
計画の目標	下水道施設の長寿命化を図ることで、安全・安心、快適な暮らしを実現し、市民の良好な生活環境を確保する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	112	A	112	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R8末
1	持続可能な下水道事業の実施を図るため、小野市ストックマネジメント計画を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。 ストックマネジメント変更計画策定数(計画) 変更策定済みの計画数(計画)/変更策定が必要な計画数(計画)(1計画)	0計画	0計画	1計画
2	令和8年度末までに、小野市ストックマネジメント計画に基づく点検・調査の進捗率を100%に増加させる。 污水管渠の点検・調査進捗率(%) 点検・調査済み管渠延長(km)/点検・調査予定管渠延長(km)(32km)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	13,529				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	13,529				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	10,285				
翌年度繰越額 (f)	3,244				
うち未契約繰越額(g)	3,244				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	23.97				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	契約価格が予定価格を下回ったため				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 小野市における水環境の整備（３）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面（社会資本整備総合交付金（防災・安全））

